

2024 年度事業報告書

特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会

I 事業期間

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

II 事業の成果

2024 年度は、労働市場での大幅な賃金アップに伴う消費者物価の高騰と値上げに振り回された 1 年となりました。当協議会においても人材不足は顕著で、引き続き人材の確保が急務となっています。

まず、NGO/NPO 間の連携促進事業については、会員メンバーとの情報交換を密にし、会員団体のイベント等の情報を、会員間及びさらなる広がりを持って、メールマガジンを 26 回配信することができました。会員からの情報発信が年々増えて、より一層の情報共有が進んでいます。また、X (旧 Twitter) 及び Facebook 等の SNS の活用については、昨年以上の回数で配信し、ワン・ワールド・フェスティバル (以下「OWF」という。) 関係で 32 回、当協議会関係の配信で 38 回と活発に活動を継続し、当協議会のアクセス数及び OWF の集客にも大きく寄与することができました。今後も会員団体との交流を深め、有用な情報を会員間で共有できるネットワークの構築に努めてまいります。

本協議会が事務局機能を担う OWF は、昨年同様「梅田スカイビル」で、大寒波が襲来した極寒の中での開催となりました。しかしながら、悪天候にも関わらず、多くの来場者が訪れ、昨年以上の賑わいとなりました。梅田ステラホールで開催された「出展ブース」では 81 団体(85 ブース)が出展し、昨年同様 5 つのグループに分けて SDGs の活動を紹介しました。今回から出展団体の PR コーナーを設け、ブースでの活動発表とは別に、活動の成果等を来場者に発表していただく「場」としています。3 階ステラホール・ホワイエでのステージプログラムでは、民族舞踊及び民族音楽の他に、在住外国人のための自然災害や防災について分かり易く解説したセミナーも開催し、来場者と一緒に考える機会を設けました。梅田ステラホール・3 階ロビーでは、外務省フォトコンテスト「みんなが輝く世界 for the first step!」に応募された作品を展示し、相談コーナーとして「外務省 NGO 相談員ブース」「在留外国人向け防災啓発コーナー」を設けました。また、販売コーナーでは、出展団体の活動を広く知っていただくために、出展団体が扱う商品の販売をさせていただきました。セミナー会場は、今回から梅田スカイビル・タワーウエスト 22 階会議室に変更し、2 会場で計 20 のプログラムを実施することができました。参加団体から、いのち、人権、難民等の問題を提起していただき、来場者と一緒に考え討論することができました。

屋外会場となるワンダースクエアでは、UNHCR の難民テントの展示、「みんなのキッチン」として 17 台のキッチンカーにより世界各国のグルメを提供することができました。また、「みんなのスポーツ」として、メキシコ発祥のルチャリブレを起源とする大阪プロレスの興行も行われ、寒さに負けず多くの観客から熱い声援が送られました。そのリングの上では、試合の合間に日本舞踊等も披露されました。フィンランド発祥の「モルック」、年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらずすべての人が一緒に競い合える「ボッチャ」は、今回も多くの方々に楽しんでいただきました。また、オンラインにて、SDGs の理念や国際交流・国際協力への理解を深める「第 5 回動画コンテスト」を実施いたしました。

外国にルーツを持つ子どもたちの日本語習得の社会問題を受けて始めた事業「こどもプラザ」は、順調に推移し、今年度は中学生も受入れ、その中学生 2 名が高校を受験しました。幸いにも 2 名とも高校に進学することができました。将来的に、外国人

の流入が続く傾向にあるため、外国にルーツを持つこどもたちの日本語習得及び居場所づくりのサポートは重要性を増してきます。

このような活動を支える資金の手当てとして、助成金の獲得は最優先事項となります。本年度の助成金は赤い羽根募金のみでしたが、次年度の助成金獲得に注力し、大阪市教育委員会事務局、区役所及び校長会、小学校等との連携を密にし、こどもたちに寄り添った支援を継続して参ります。

Ⅲ 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

2. 収入 12,469,068 円 支出 13,361,680 円

(1) NGO/NPO 間の連携促進事業（会員向け事業）（2025 年 3 月 31 日現在）

収入 3,752,080 円 支出 4,654,708 円

①会員サービスの充実

内 容	会員間の情報交換、経験の共有を図るとともに、会員それぞれが有する専門性や経験情報・人材を活かせるように連携や協働の促進に努めました。 ①会員名簿の発行 発行部数 50 部 配布先 会員団体 ②講演会の開催 タイトル：「難民問題の現状と私たち一人ひとりにできること」 講師 国連 UNHCR 協会 芳島 昭一 氏 開催日時：令和 6 年 6 月 20 日（木）15:00～16:45 講演・質疑応答 ※会員及び会員以外の方々も含めて会場および ZOOM にて視聴しました。
実 施 場 所	当法人事務所
実 施 日 時	令和 6 年 6 月 20 日（木）15:00～16:45
事 業 の 対 象 者	正会員 34 団体、会員以外の団体も参加

②会員への情報提供と会員活動への広報協力

内 容	①会員への情報発信 ・会員からの問い合わせについて、各種助成金情報や会員団体による主催事業情報、NPO 支援に関する情報発信をホームページにアップし、昨年引き続き SNS 等にて積極的に情報発信を行いました。 ・本年度はメールマガジンを 26 回配信することができました。昨年同様に情報の配信を継続することで、会員間の情報の共有が可能となり、また会員以外の団体等に会員の活動内容を配信することで、有効な情報拡散ができましたことを報告させていただきます。 ②国際交流等のイベントの後援及び活動の支援 ・会員団体の国際交流イベントの活動の支援として、メールマガジン、SNS 等で広報活動を実施しました。 ③ 自主イベント時に会員情報の配布協力及び SNS 等を使用した情報配信の協力 ・会員団体情報として、メールマガジン及び SNS にて積極的な情報配信を行いました。
実 施 場 所	当法人事務所
実 施 日 時	随時
事 業 の 対 象 者	正会員およびその他の団体、ボランティア等

(2) NGO/NPO と多分野の団体、他機関との連携促進事業

収入 7,666,988 円 支出 7,716,445 円

① 第32回ワン・ワールド・フェスティバル

内 容	2025 年 2 月 8 日(土)、9 日(日)の両日、「梅田スカイビル」にて、「共に生きる世界を〜今こそ思う みんなのいのち〜」をテーマに掲げ、第 32 回 OWF を開催いたしました。 会場のメインは、NPO/NGO 等の 81 団体に出演を頂いた「展示ブース」です。ここでは、SDGs17 項目の達成に向けた各団体の活動を 5 つのグループに分けて紹介し、これらの取り組みを「見て、聞いて、理解する」ことができるため、学生や若者にとって活きた SDGs を学ぶことができる有用なプログラムとなっています。今回から、出演団体の活動をより詳細に紹介する PR コーナーを設けました。初めての試みでしたが、来場者と出演団体との交流の場となりますので今後も引き続き対応して参ります。 3 階ステラホール・ホワイエでのステージプログラムでは、民族舞踊及び民族音楽の他に、在住外国人のための自然災害や防災について分かり易く解説したセミナーも開催し、外国人の災害に対する不安と避難等について、来場者と一緒に考える機会を設けました。また、セミナープログラム、ステージプログラム、みんなでスポーツプログラム等についても盛況で、多くの来場者に参加していただくことができました。 なお、2 月 8 日(土)の夕方には、世界中で起こっている紛争による難民及び命を落とされた人々、また災害などで亡くなられた方の鎮魂と平和を願うために、キャンドルに明かりを灯す「キャンドルナイト」を開催いたしました。また、オンラインにて、SDGs の理念や国際交流・国際協力への理解を深める「第 5 回動画コンテスト」を開催し、審査委員による最優秀賞等の選定、受賞者への表彰状及び賞金の授与もつつがなく無事終了することができましたこと報告させていただきます。 今回の OWF の開催に当たり、参加して頂いた多くの団体の皆様のほか、場所をお借りし様々なご協力をいただきました積水ハウス梅田オペレーション株式会社様、そして外務省、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、関西領事団、大阪府、大阪市、堺市をはじめとする省庁・自治体並びに教育委員会、各種団体、学校、企業等の皆様方には、運営協力、ご後援、ご協賛などの形で多大なご支援、ご協力をいただきました。また、事前準備や当日のボランティアとして多くの皆様にご協力を頂きました。改めて心より厚く感謝を申し上げます。 開催にあたり何かと不備な点がございましたが、その反省は次回以降の運営にしっかりと活かしていきたいと考えています。
実 施 場 所	梅田スカイビル・梅田ステラホール、ワンダースクエア等
実 施 日 時	●会場（リアル）開催：2025 年 2 月 8 日（土）～2 月 9 日（日） ●オンライン開催：2025 年 2 月 1 日（木）～2 月 28 日（金）
事 業 の 対 象 者	国際交流・協力活動に積極的に参加している市民及び興味を持つ市民 ●会場（リアル）開催入場者：25,000 人、 ●オンライン開催視聴者数：31,712 人

(3) 国際交流・国際協力・市民活動に関する情報収集と提供事業

収入 0 円 支出 0 円

NGO/NPO に関する情報の収集・提供事業

内 容	関係機関からの情報を整理し、ホームページ上で「新着情報」として取り上げ、タイムリーに配信することを継続しています。また、PICK UP 情報として、イベントの情報を詳しく紹介するコーナーも設け、情報発信の充実を図りました。各団体からの掲載の依頼なども新着情報と併せてメールマガジンに掲載し、約 867 団体に配信を行いました。
実 施 場 所	国内外全域
実 施 日 時	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
事 業 の 対 象 者	当協議会会員及び国際交流・協力活動に対する意識を持つ市民

(4) 開発教育・市民意識啓発と活動への参加促進事業

①国際理解（世界で起こっている社会問題等）の教育の促進

内 容	OWF の会場で開催される SDGs の活動を「見て、聞いて、理解する」ことができる出展ブースを、教育の場とし活用し、中学生、高校生、大学生の学び場としての役割を果たすように努めてきました。今回も前回に引き続き、奈良・育英西中学校の生徒約 80 名が会場を訪れ、生徒各自が出展ブースを巡り生徒一人ひとりの目線（考え方）で、自分に合った課題を選び、出展ブースの団体にヒアリングを行い、今起こっている社会問題等について自分の考えをまとめる、という学習体験をしていただきました。また、多くの高校生・大学生等若者が訪れ、SDGs の活動について学んでいただいています。
実 施 場 所	梅田スカイビル・梅田ステラホール（出展会場）
実 施 日 時	2025 年 2 月 8 日 10:00～17:00、9 日 10:00～16:30
事 業 の 対 象 者	中学生、高校生、大学生、若い世代の方々

②人材育成事業

内 容	学校法人エール学園の推薦により、2 名の留学生を受入れ、国際交流・協力を目的とした「ワン・ワールド・フェスティバル」の開催に伴う、企画、折衝、プログラムの制作の補助、イベント参加者の対応等、イベント開催の運営の実践を学ぶインターンシップを実施しました。
実 施 場 所	当法人事務所
実 施 日 時	2024 年 10 月 1 日～2025 年 2 月 15 日
事 業 の 対 象 者	学校法人エール学園 留学生 2 名（ベトナムの留学生 1 名、ミャンマーの留学生 1 名）

(5) NGO／NPO の基盤強化事業

収入 1,050,000 円 支出 990,527 円

①多文化共生事業

「こどもプラザ」

内 容	「こどもプラザ」のこどもの受入状況は、徐々に増加し、夏休み期間には台湾からの参加者もあり、多いときは 10 名が一緒に学びました。3 月時点で 12 名の登録者があり、国別ではベトナム 4 名、中国 7 名、ネパール 1 名となっています。外国にルーツを持つこどもたちは、学校の授業についていけない等の困難に直面していますが、悪戦苦闘するこどもたちに寄り添い、こどもたちの手助けになればとボランティアの方々と明るく対応しています。 通常の運営に加えて、日本の季節に合わせた諸行事を取り入れたプログラム作りに留意しており、2024 年度では、バスケットボール観戦、こどもの日、七夕、ハロウィン、クリスマス、ひな祭りなどの行事を行いました。こどもたちが手作りで行事にちなんだ飾りつけを作りながら、日本文化に触れる機会を設けています。また 7 月には、近畿大学・経営学部吉田教授のゼミ生 21 名が参加し、こどもたちの日本語習得等のボランティアそしてサポートをしていただきました。 昨年の 12 月時点で、大阪市内の在留外国人数が過去最多を更新し、日本語のサポートを必要としている児童数は、2025 年 3 月末時点で 1,600 人を超えている状況下にあります。来日したこどもを最初に世話をする「プレスクール」と連携しながら、こどもの受入れについて柔軟に対応しているところです。また、大阪市教育委員会事務局、区役所及び校長会、小学校等との連携を密にし、確かな情報を得ながらこどもたちの支援を継続して参りたいと考えています。今後は、民間からの助成金を募り、中学生の受入れも継続して対応できるようにいたします。 【事業の成果】 【令和 6 年度事業実施の成果】
-----	--

	1) 事業期間 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日 2) 実施回数 ①こどもの日本語習得実施回数 50 回 ②保護者の日本語習得実施回数 50 回 3) 参加者数 ①こどもの延べ参加人数 356 人 ②保護者（主に母親）の延べ参加人数 247 人 ③ボランティア指導員延べ人数 342 人 ※ボランティアを募るのが難しく、公的な媒体及びチラシ、HP 等で告知 をしています。人数確保に苦労している状況が続いています。
実 施 場 所	当法人事務所
実 施 日 時	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日 毎週水曜日 17 時～19 時
事 業 の 対 象 者	大阪市在住の外国にルーツのある子どもたち（小中学生が対象）、その保護者（主に母親）

（６）調査研究・提言事業

収入 0 円 支出 0 円

①審議会、委員会への参加

内 容	在留外国人の増加に伴い、日本での法律の問題、生活の困窮及び生活するうえでの問題が発生しています。このような問題解決の術を知らないという在留外国人を対象に、2024 年 7 月 6 日（土）、2025 年 1 月 18 日（土）の 2 回、「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議（事務局＝大阪国際交流センター）が主催する「1 日インフォメーションサービス」を開催しました。この相談会は、無料で相談できるもので、ワンストップで相談できると大変好評なイベントでもあります。当協議会は、連絡会議のメンバー団体として参加しています。 1) 2 日間の相談者実績合計：144 名 2) 主な相談内容 : 出入国・在留関係 74 件、法律関係 21 件、生活関係 18 件、税金関係 17 件となっています。
実 施 場 所	大阪国際交流センター2 階
実 施 日 時	2024 年 7 月 6 日（土）13:00～17:00、 2025 年 1 月 18 日（土）13:00～17:00、
事 業 の 対 象 者	在阪外国人、当協議会に関係する海外にルーツを持つ人々、行政他

Ⅳ 社員総会の開催状況

2024 年度通常総会

- （日 時） 2024 年 6 月 20 日（金）14 時 00 分～15 時 00 分
（場 所） 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
（大阪市東住吉区杭全 1 丁目 15-18）
（社員総数） 35 団体
（出席者数） 34 団体（うち委任状出席者 25 団体）
（内 容） 第 1 号議案 2023 年度（令和 5 年度）事業報告並びに決算（案）の件
第 2 号議案 2024 年度（令和 6 年度）事業計画並びに予算（案）の件
第 3 号議案 役員改選

Ⅴ 理事会その他の役員会の開催状況

第 73 回理事会

- （日 時） 2024 年 5 月 29 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分
（場 所） 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
（大阪市東住吉区杭全 1 丁目 15-18）
（理事総数） 13 名

(出席者数) 13名(うち委任状出席者4名)
(内 容) 第1号議案 2023年度(令和5年度)事業報告・活動計算書(案)
第2号議案 2024年(令和6年度)事業計画・活動予算書(案)
第3号議案 役員改選

第74回理事会(書面表決)

(日 時) 2024年6月10日(金)15時00分～15時30分
(場 所) 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
(大阪市東住吉区杭全1丁目15-18)
(理事総数) 13名
(出席者数) 13名(うち委任状出席者12名)
(内 容) 第1号議案 2024年通常総会 審議事項「役員変更」(案)

第75回理事会

(日 時) 2024年9月25日(金)10時00分～12時00分
(場 所) 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
(大阪市東住吉区杭全1丁目15-18)
(理事総数) 13名
(出席者数) 13名(うち委任状出席者4名)
(内 容) 協議事項 1号議案 こどもプラザ助成金の共同応募について

第76回理事会

(日 時) 2025年3月26日(水)10時00分～12時00分
(場 所) 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
(大阪市東住吉区杭全1丁目15-18)
(理事総数) 13名
(出席者数) 13名(うち委任状出席者3名)
(内 容) 第1号議案 2024年度中間報告
第2号議案 2025年度(令和7年度)予算(案)

以上